

科目名	ニットデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	120	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

本科目ではニットの基礎知識を身に付け、自ら企画を立てて時流とニーズに沿った提案ができニットデザインを考える為の基礎能力と感性を身につけることを目標とする。

【科目の概要】

1・2年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンド、発想などをプラスして表現するニット全般の基礎的な知識と技術を幅広く学びそれらを有効に活かした企画力を向上させる。ニット独自の考え方や編地の扱い方を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1,2	3年ニットデザイン概要・就職活動について	31,32	ニット＋布帛アイテムオリジナルデザイン
3,4	ニットアイテム縫製仕様デザイン	33,34	↓
5,6	↓	35,36	↓
7,8	就職活動用ポートフォリオ①	37,38	ニットアイテムバリエーション
9,10	就職活動用ポートフォリオ②	39,40	↓
11,12	春夏スワッチブック作製	41,42	↓
13,14	秋冬スワッチブック作製	43,44	ターゲット設定デザイン
15,16	ニットブランド商品企画①	45,46	↓
17,18	↓	47,48	↓
19,20	↓	49,50	シーズナルアイテムデザイン
21,22	↓	51,52	↓
23,24	プレゼンテーション	53,54	↓
25,26	上田学園コレクションデザイン	55,56	SDGSの現在
27,28	上田学園コレクションデザイン	57,58	↓
29,30	前期テスト	59,60	後期テスト

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】Sandy Black『ニットウェアinファッション』グラフィック社2003年

Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年

Rovert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート オリジナルプリント 画材 棒針 かぎ針

科目名	ニット実習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	佐藤 良祐

【科目の到達目標】

2年で身に着けたニットアイテムの特徴を把握し、クリエーション力を高め、作品製作への総合的な力を付ける。
ハンドニットとマシンニットを使い分けデザインバリエーションを増やせるよう高度な作品作りを目指す。

【科目の概要】

様々なニットアイテムの制作方法を学びオリジナリティのある作品を生み出すための技術力を高める。
棒針編みのバリエーション。リブの始末。機械編みのリンキング縫製、編み立て始末等

【授業計画】 90分/コマ	前期	【授業計画】 90分/コマ	後期
1-2	棒針部分編み(ケーブル)	31-32	上コレ作品
3-4	棒針部分編み(透かし編み)	33-34	↓
5-6	アラン模様ベスト(ケーブル)	35-36	↓
7-8	↓	37-38	↓
9-10	↓	39-40	↓
11-12	↓	41-42	↓
13-14	↓	43-44	↓
15-16	↓	45-46	↓
17-18	↓	47-48	↓
19-20	かぎ針の部分編み	49-50	自由課題プルオーバー
21-22	かぎ針の部分編み	51-52	↓
23-24	かぎ針の部分編み②	53-54	↓
25-26	棒針編みの部分編み	55-56	↓
27-28	棒針編みの部分編み②	57-58	↓
29-30	前期テスト	59-60	後期テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

編み物道具一式、家庭用横編み機、リンキングマシン

科目名	ニットCAD演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	大熊彦次

【科目の到達目標】

コンピュータニットを扱うために学んだ基礎知識を活かし自分一人で柄組みから編み立てまでを行えるようになる。
2年で習得した技術を駆使して自身の創造するオリジナルデザインをニットの特性を活かして創作できる。

【科目の概要】

ニットの基本的な知識と技術に加え、編地ごとの編成データの作製と編み機の設定。オリジナルアイテムを創作するための知識の応用などを習得し様々なニット製品の企画、立案ができる人材の育成を目指す。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1,2	ニット基礎 基本操作の復習	31,32 上田学園コレクションの編地制作
3,4	ブレタ展の創作・イメージパーツの作製	33,34 ↓
5,6	↓	35,36 ↓
7,8	↓	37,38 ↓
9,10	↓	39,40 ↓
11,12	↓	41,42 ↓
13,14	↓	43,44 ↓(編地の完成・レポート作製)
15,16	編地サンプルブックの作成(ニットスワッチの編立、	45,46 オリジナル作品の創作・編地の応用
17,18	↓ 編み機操作の習得)	47,48 ↓
19,20	↓	49,50 ↓
21,22	↓	51,52 ↓
23,24	↓	53,54 ↓
25,26	画像データのジャガード編地変換	55,56 ↓(編地の完成・レポート作製)
27,28	上田学園コレクションの編地(編地相談)	57,58 まとめ、総復習
29,30	↓ 前期テスト	59,60 後期テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

島精機ニット基礎・応用クラス講習マニュアル

【教材・教具】

筆記用具 ノート USBメモリー

科目名	クリエイションテクニックⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

ニットCAD演習やニット実習で作製したオリジナル編み地を使用し自身の考える作品を適切な縫製で作製する。
編み物と織物の違いを理解し生地に応じて縫製を理解する。

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をする為に必要な洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1-2	プレタポルテ展 作品制作	31-32 上田学園コレクション 作品制作
3-4	↓	33-34 ↓
5-6	↓	35-36 ↓
7-8	↓	37-38 ↓
9-10	↓	39-40 ↓
11-12	↓	41-42 ↓
13-14	まとめ	43-44 ↓
15-16	オリジナル小物制作	45-46 まとめ
17-18	↓	47-48 オリジナルデザイン制作
19-20	↓	49-50 ↓
21-22	↓	51-52 ↓
23-24	↓	53-54 ↓
25-26	↓	55-56 ↓
27-28	↓	57-58 ↓
29-30	まとめ	59-60 まとめ

【成績評価方法】

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)

【教科書・参考書】

『スカート』『パンツ』『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、編み物道具、リンクングミシン

科目名	パターンメイキングⅡ(ニット)	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成し、各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック規格サイズの理解。既製のサイズ展開の基本知識を養う。島精機のニットCADシステムSDS－ONEを使用しニットアイテム製品企画時の製図のの注意点や仕様などを学ぶ。

【科目の概要】

基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を習得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1,2	ジャケット(マニプレ)製図	31,32 ハンドニット製図
3,4	ジャケット(マニプレ)トワール	33,34 ハンドニット製図
5,6	ジャケット(マニプレ)工業用縫い代つけ	35,36 ハンドニット製図
7,8	ジャケット(マニプレ)付属、裏地作製	37,38 ハンドニット製図
9,10	グレーディング概要(Tシャツ)	39,40 ハンドニット製図
11,12	ジャージ、セットアップ(製図)	41,42 ニットCADシステム連動①
13,14	ジャージ、セットアップ(トワール)	43,44 ニットCADシステム連動②
15,16	ジャージ、セットアップ(縫製)	45,46 ニットCADシステム連動③
17,18	ジャージ、セットアップ(仕様書)	47,48 ニットCADシステム連動④
19, 20	マウンテンパーカ(製図)	49,50 ニットCADシステム連動⑤
21,22	マウンテンパーカ(トワール)	51,52 ニットCADシステム連動⑥
23,24	オリジナルデザイン(布帛＋ニット)	53,54 ニットCADシステム連動⑦
25,26	オリジナルデザイン(布帛＋ニット)	55,56 ニットCADシステム連動⑧
27,28	オリジナルデザイン(布帛＋ニット)	57,58 ニットCADシステム連動⑨
29,30	前期テスト	59,60 後期テスト

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

オリジナルプリント、実物サンプル

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせた的確な厚さの物)
シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションドローイングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70%
時間数	30	作成者	田中英子

【科目の到達目標】

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。制作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ 前期

- 1 ヌード、顔、ヘア、手足の復習
- 2 アナライズ
- 3 就職対策(画材表現)
- 4 就職対策(ポージング)
- 5 就職対策(着装とハンイラ)
- 6 プレタ展の作品表現
- 7 プレタ展の作品表現
- 8 就職対策(パターンからデザイン)
- 9 1920年から1990年代のイラストを学ぶ
- 10 1920年から1990年代のイラストを学ぶ
- 11 1920年から1990年代のイラストを学ぶ
- 12 1920年から1990年代のイラストを学ぶ
- 13 デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)
- 14 デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)
- 15 デザイン画選手権の作品製作 3(着色)

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ドレーピングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

様々な横編みニットを。

服のフォルムに対しての感性を高める。

【科目の概要】

ボディを使用しての立体裁断。

トワールを使用し立体によるデザイン表現を指導、

正確にパターンに落とし込めるよう指導。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 1・2 ドレーピング概論
- 3・4 ローゲージニット生地のドレーピング
- 5・6
- 7・8
- 9・10
- 11・12
- 13・14 ミドルゲージニット生地のドレーピング
- 15・16
- 17・18
- 19・20
- 21・22 ハイゲージニット生地のドレーピング
- 23・24
- 25・26
- 27・28 まとめ
- 29・30 後期試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

ドレーピングⅠ

オリジナルプリント 実物サンプル

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせた的確な厚さの物)・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義100%
時間数	30	作成者	秦野 知邦

【科目の到達目標】

ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける
 社会人としてのコミュニケーション能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける
 一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を体得する

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、パーパスを考える
 アパレル業界の仕組みや流れを理解し、今の時代に合ったビジネスをデザインする
 最新の業界の情報を新聞・雑誌・ネット情報だけでなく、リサーチなど行動して五感で感じる

【授業計画】

90分/コマ	前期
1	ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義 ・即戦力→企業が求める人材について
2	ラグジュアリーブランドビジネスの現状を分析 ・コングロマリットの動向など
3	グローバルSPAブランドのビジネス戦略の現状についての講義 ・ZARZ/H&M/ファーストリテイリングなど
4	セレクト系SPAブランドのビジネス戦略の現状についての講義 ・オムニチャネル/OMOなど
5	【これからのリアルショップ】を企画提案するための講義 ・企画書のポイントなど
6	【これからのリアルショップ】を企画提案するためのショップリサーチ ・現状のショップリサーチから新たな発見や改善策→企画提案
7	【これからのリアルショップ】を企画提案資料を基にグループミーティング ・リアルショップ企画の発表
8	ファッションビジネスにおけるストーリーテリング/ナラティブについての講義 ・CXの最大化
9	ファッションビジネスにおけるDXについての講義 ・【マーケティング5.0】
10	ファッションビジネストレンドについての講義 ・アフターコロナにおけるインバウンドビジネスや協働/協業/コラボなど
11	これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義 ・世界のクリエイティブなデザイナーやブランドから学ぶ
12	時代をとらえた【D2C/DNVB】ビジネスについての講義 ・自己実現・共創・イミ消費など
13	即戦力としての知っておきたい計数や取引慣行 ・数字の見方→行動
14	まとめ→ブランドやショップを立ち上げるまでのプロセスとキーポイント ・ブランドパーパスの明確化
15	期末テスト ・筆記試験 90分

【成績評価方法】

ノートによる評価 40% テスト40% 授業態度20%

【教科書・参考書】

WWD・日経新聞・日経MJ・織研新聞

【教材・教具】

ビジネス論専用ノート・筆記用具

科目名	コンピュータ演習 Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1	授業概要説明:スキル確認	16	オリジナルポートフォリオ制作
2	就職活動用ポートフォリオ制作	17	↓
3	就職活動用ポートフォリオ制作	18	↓
4	就職活動用ポートフォリオ制作/ブレタ展データ作製	19	↓
5	就職活動用ポートフォリオ制作/ブレタ展データ作製	20	↓
6	ハンガーイラスト演習 :ニットアイテム①	21	↓
7	ハンガーイラスト演習 :ニットアイテム②	22	↓
8	ハンガーイラスト演習 :ニットディティール①	23	オリジナルサンプルブック制作①
9	ハンガーイラスト演習 :ニットディティール②	24	オリジナルサンプルブック制作②
10	スタイル画 着色演習1:素材表現 編地①	25	オリジナルサンプルブック制作③
11	スタイル画 着色演習1:素材表現 編地②	26	オリジナルサンプルブック制作④
12	ブレタ展デザインまとめ①	27	サンプルブックまとめ
13	ブレタ展デザインまとめ②	28	上田学園コレクションデザインまとめ①
14	オリジナルデザイン画	29	上田学園コレクションデザインまとめ①
15	学期末テスト	30	学期末テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

【教材・教具】

プリントやPDF等で配布 USBメモリ 筆記用具

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	相馬成男
【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を目指す。			
【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。			
【授業計画】 90分/コマ	前期		
第1週	第1章 アパレル産業の歴史と変遷		
第2週	第11章 世界と日本の繊維生産 第2章 アパレル製品の商品企画		
第3週	第3章 アパレル製品の副資材 - 1		
第4週	第3章 アパレル製品の副資材 -2		
第5週	各論 第3章 スポーツウエア		
第6週	第4章 アパレル製品用材料の 試験と検査		
第7週	第5章 アパレル製品の縫製 と二次加工		
第8週	各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下		
第9週	第6章 アパレル製品の検査 と品質管理		
第10週	第7章 アパレル製品の安全・安心		
第11週	各論 第1章 紳士服 -1		
第12週	第8章 アパレルの表示と関連法規		
第13週	第9章 アパレル製品の洗濯 とメンテナンス		
第14週	第10章 アパレル製品の品質管理 と消費者対応		
第15週	各論 第1章 紳士服 -2 各論 第2章 婦人服 総復習 経済産業省,環境省,消費者庁情報		
【成績評価方法】 毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%			
【教科書・参考書】 編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、 発行所:金壽堂出版有限会社、発行日:2020年7月3日			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 90% 実習 10 %
時間数	30	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 1 初期ルネサンス美術1: マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2: ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1: レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2: ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術: ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術: ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術: ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1: 新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2: レアリスム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3: 後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代～中世の美術1
- 12 古代～中世の美術2
- 13 20世紀の美術1: キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2: 第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

教科書: 千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】

筆記用具